

小蓑庵確嶺編俳人住所録 『諸国名家録』

矢羽 勝 幸

一、緒 言

近世も後期になると、俳人たちは各流派を超えて、蕉風の一点で結束、広く全国の俳人たちと交流を持つようになる。その時に必要なのが都鄙の俳人たちの居所を記す名簿であった。交際のある人、実力のある俳人たちの俳号、実名、住所、交通方法などを地域ごとに記す。

ここに紹介するものは、文化（一八〇四―一八）から幕末にかけて江戸を中心に活躍した俳人小蓑庵確嶺こみのあんたけいの自筆本で、表紙によると文化九年（一八一〇）七月から書き始めたもので、以後文政期（一八一八―三〇）まで書き続けられたことが筆蹟の変化から確認できる。

文化九年といえ、師常世田長翠の晩年で確嶺は師の居住する山形県酒田市の胡床庵こしやうあんに執筆として同居していた。本書に東北地方の人々が多いのもそのためである。したがって、本書の前半に収録される人々の多くは長翠との交際者とみる

ことができよう。

俳人研究の基本は、まずその本名や居所を確かめることから出発する。その意味から本書は、近世後期俳諧研究の基本資料といえることができる。ここに翻刻・紹介するゆえんである。

編者確嶺（二七八〇—一八四六）の略伝を紹介すると、群馬県安中市坂本に生まれ、本名を中村かずよしといった。埼玉原本庄市時代（小蓑庵）の長翠に師事。長翠が享和年間酒田市に移住すると、これに従い、酒田で剃髪、胡床庵の執筆になった。しかし、文化の中頃、ふしまつがあつて破門され、酒田をはなれた。江戸に出た確嶺は、長翠の弟子鈴木道彦に入門、よくつとめて文化末年江戸本町一丁目に長翠の小蓑庵（二世）を再興した。道彦が許可したものであろう。文政九年から一派の年刊撰集『雨夜集』を刊行、のちには月並も催している。生涯著すところの編著四十余部、特に類題集が多い。

二、書誌

タテ十五センチ、ヨコ十七センチ。一冊、三十二丁。表紙・本文とも確嶺自筆。表紙左方に自筆で「文化九年壬申秋七月／諸國名家録 橋梁」の外題がある。橋梁は確嶺の別号である。福島憲太郎氏蔵。

三、本文

名 録

長 齋 大坂淀屋橋大河町東へ入

倉敷屋作右工門

井 眉

椿堂

伊勢古市

福原長右兵衛三門

丘高

同 山田

笹司馬

奥州

関舎

白阪

若野屋直七

露秀

郡山

佐々木文右三門

冥々

本宮

塩田屋茂兵衛

秋夫

同

大内屋藤左三門

乙二

白石

千手院

大呂

仙台大町二丁目

福島屋文右三門

文郷

同 一丁目

川邑屋長太郎

楚川

同 一丁目

大黒屋清六

美図良

瑞鳳寺和尚

南山

同 大町四丁目

大黒屋亀五良

芳之

同 大町四丁目

同 甚蔵

柏翠

同 甚蔵

竹田源五良

竹亭

同 肴町

種沢屋栄助

年々

同 肴町

福島屋三次

三孔

同 同

┌ (一才)

巢居

同 原町

清光院

雄渚

同 八幡堂

大場山城

子孝

┌ (二ウ)

蓬山

一鳳

三哩

守貫

楚台

玉洞

曰人

浦人

旧人

晋峨

風吟

旨岡

寸草

鳥因

桂菴

同 原町

同 八幡堂

清光院

大場山城

┌ (二ウ)

山崎屋清太良

桂 玄庵

福田屋与八良

遠藤清右工門

三浦屋弥惣司

石卷

ミヤサキ住居仙台藩中

同

仙台飯野川

同

川瀬谷邑

柳津

┌ (二才)

菊池屋助太良

菊田良助

染屋民蔵

高橋栄作

佐藤慶安

有素 天有 留馬 文白 卵兮 春瓢 蘿月 醉石 相思 丈馬 長寸 左來 世竹 几隱 圃翠 玄々 里棠 一譽

カヌマタ

登米家中

同 中町

弥右工門

鈴木英次良

米屋作兵衛

佐沼

宗岳院

同人ノ親ナリ

「(二ウ)」

若柳

阿部屋八良右工門

同

鱧屋丈四郎

金成

酒井雄右工門

同

鈴木利左工門

一ノ関

金森屋利三良

同

佐々木潜庵

同

藤屋專吉

山ノ目

三浦文四良

同

尺堂屋円二良

同

井藤久右工門

良太 松傘 几伯 東壁 東雅 百万 松圭 巴丈 南無祖 春洞 東岳 芳洲 隨馬 百舌 智岳 卜三 三守 ぬひ

シフ

人□家中

人□

大原

仙台東山折壁

歌詠^(詠)也
同 新城邑

梅津鶴藏

氏家玄英

佐伯三良右工門

同 惣弥

鱧屋岩藏

勝之助

佐々木正庵

相沢春洞

岩渕軍之助

小川三右工門

同 丈助

同 戸市

龍雲寺和尚

及川松齊

同 三守

松齊女

┌(四才)

九巢 五調 五嶺 几言 虛白 几留 千之 五江 士全 甫立 白支 巾來 風坡 亞圭 一如 如水 魚山 只石

同
氣仙沼

氣仙今泉

伊藤玄立
嘉藤市兵衛

柏崎亦右工門

貞正院
小島彦八
庭月敬菴

┌(四ウ)

┌(五才)

寂林
五粒
姉橋
魚文
十寸穗
一竿
松江
錦江
鷄路
浣素
尺路
買糸
柏舟
臥牛
甫長
珍平
脱兔

今泉

氣仙高田

同盛町

以上仙台 以下八南部

花牧川口

花牧

改種世

、

画師

川口

〃

及川安之助

菅原十二良

岡本屋多十良

弥十良

善之助

新沼林七

鈴木運八

山口瑞之

伊東玄碩

丸屋新助

山口屋儀兵衛

滝田屋善作

松野屋佐助

八重樫彭沢

中館六郎

鈴木屋珍平

広屋源八

┌ (五ウ)

其調 多泉 素吟 已由 平角 甘柿 楚雀 一松 琴雨 春岱 楚山 春莊 東砦 東砦 東芽 和秀 雪叩 高康 淡水

〃

〃

〃

郡山

盛岡中町

同 紺屋町曲師屋

同

盛岡家中

島伊八

三津屋善次

あふみや権蔵

大黒屋佐四良

平野次良吉

沼沢利助

同 忠吉

杉邑兵右工門

和泉屋清兵衛

中村平八

平野助七

同 泰助

加茂屋甚七

伊藤亦六

和久屋善吉

あふみや忠蔵

菱屋善吉

伊吹屋命助

中町

力子町

「(六才)

彦貫 英里 よし里 夫賛 蒼洲 指鴻 東騏 龜石 素郷 阜仙 岱月 白義 且秋 月松 菊夫 穂屋 南車 鷺洲

同 大迫 吉里きりく セン木町 南部藩中

中村泰助 小田島玄流 前川善兵衛 米屋平吉 伊吹屋文吉 田鍍次五右工門 同 与惣松 小野永二 あふみや重蔵 木屋源次 姉帯久蔵 同 新吉 同 松之助 あふみや茂兵衛 松田屋嘉兵衛 壺屋惣兵衛 伊勢屋幸七

┌(七才)

┌(六ウ)

桃徑 柴富 硯柳 桂路 北溟 志白 文貫 掃月 星圃 歌泉 萩丸 五扇 貞雅 史月 彩雅 漣月 柏水 三豆

遠野近兵之内

遠野

宮古夷屋

黒沢尻

あふみや半兵衛

大黒屋兵左工門

岩間龍八

近江屋兵助

同 伊助

小沢庄七

三田玄建

田嶋屋新助

城戸重吉

田島屋喜与松

安原善吉

金沢儀藏

古田丈助

松尾紋左工門

大西周助

久保田伝兵衛

五戸

三ノ戸

一ノ戸

「(七ウ)

斑鼻 雲臥 古及 仏平 寛兆 朶郷 春翠 春兆 文兆 松残 舍来 米二 東化 東臨 棄満 虚白 八千雄 草坡

加賀屋村次
惠定院
野辺地
南部八戸
八戸家中
同
同 弘前

加賀屋村次
惠定院
仙台屋彦兵衛
江戸屋宇右工門
松橋宇助
同 半次良
松井仁兵衛
大黒屋長兵衛
長山三郎兵衛
大塚屋作兵衛
亀屋利兵衛
願栄寺
大村謙中
石戸屋勘太良
柴田
山城屋吉六

┌(八才)

┌(八ウ)

玉之

同

出羽国米沢

如是坊

同 城下

稻丸

山口立之
同 彭寿

豹章

遠藤吉之助

柳々

嵐田半兵衛

良

同妻 りの

葵園

画師也。米沢家中

暮松

同

桐水

矢島觀右工門
井上伊右工門

素人

伝次郎

菊斉

盲人

友川菊之都

二来

大和屋

渡辺伊右工門

春里

源次

玉外

坂根甚五右工門

未人

山口彭寿妻

卜齋

植口惣兵衛

亀国

石川伊三郎

┌ (九才)

素白
籬庭
素山
吾柳亡
松花
松徑
川城
淇春
指梅亡
琴和
三柳
仙耳
晋風
不材
曉花
麗山
和有

糠野目御番所
黒川邑
山中
同 御番所
吉田邑
洲嶋邑
小松
大塚
薙久邑
一本柳

宮崎周白
石津屋紀兵衛
室珠院
志賀祐右工門
富沢屋間兵衛
金剛院
藤倉茂助
同 七右工門
那須道伯
原田彦八
玉泉院
佐藤仙右工門
竜天寺
金子文五良
町田民藏
高橋与惣兵衛
金子孫左工門
同 周助

┌ (十才)

┌ (九ウ)

李中 宇考 宇狂 画水 太橘 李因 文呂 芦洲 左明 知兮 莞水 竹悟 溪李 蘭侯 野松 五瓢 渭虹

米沢社祇

同 成田

同 小出

大貫吉左工門

佐々木宇右工門

同 金太良

行藏院

竹田平四良

川崎八右工門

同 政七

同 九良右工門

同 応助

横山孫助

屋代元利

梅津藤右工門

同秋田

久保田楠山御堀端

工藤庄左工門

玄心寺

土肥藤左工門

┌(十ウ)

可来
嵐児
巴陵
石声
青芝
鳳巾
舟砂
凉左
暗風
可效
雨筆
伍丹
梅雪
成雅
把口
樗吹
牛摘
逸々

大崎
大曲

武田了齋
五十嵐要助
大和田源兵衛
木邑官助
中邑龜五良

吉田三之助
藤林老之助
角屋久兵衛
金剛院

ㄥ(十一才)

一樟
文好
吳一
桐山
木子
金馬
有隣
九花
雪濤
岡臥
斗一
渭水
拳一
湖柳
文明
民兒
五貢
尋風

六郷

小西慶吉

斎藤七十郎

加賀屋源太郎

檜尾元仲

斎藤与一郎

国谷源五兵衛

小瀬藏人

高屋翁助

国谷才右工門

〃
〃
〃

秋田藩中、横手住居

横手

能代

扇田

大館馬喰町

尾張屋八右工門

正覚寺和尚

平泉与十郎

ㄥ(十一ウ)

青互

对阿

乙彦

佐ひら

鬼磨

之路 改木賀

湖遊

歌木

庄内亀崎

河道

阿息

美杜李

巨洲

桃吏

左母里

丈二

三夕

龍花

本庄中横町

中町

古雪町

新庄馬場町

龜田

寺町浄土宗

〃 信言宗

一ノ町

舟場町

出町

舟場町

六ノ町

寺町浄福寺中一向宗

中村甚兵衛

細矢源七郎

藤田佐兵衛

天然寺方丈

早水重藏

遅沢文助

打矢長三郎

浄徳寺方丈

竜巖寺法印

本間外衛

須階玄益

本庄屋三郎兵衛

柿崎孫兵衛

榎田太良右工門

○秋田屋久蔵

善称寺

┌ (十二才)

文孝

池田吉兵衛

志丈

上林作良次

不得

渡辺早人

梅童

鏡谷惣右工門

亀汀

佐竹弥右工門

子盈

青塚次郎吉

昆明

根上善助

蟻城

本間与次右工門

蟹子

伊勢屋利助

五棄

今町

ミなとや五左工門

花耕

中町

大和屋久藏

文思

最上尾花沢宿

柴崎倉之輔

民時

改觴山

同 安右工門

感涼

和合屋文右工門

清矣

鈴木久左工門

指月

同 小三郎

「(十三才)」

「(十二ウ)」

素風 似峯 北陵 巨外 布月 左漣 境水 桑雨 寿山 一湖 礎丈 龜年 楓二 平車 平明 鴻亭 秋扇

改蕉兆
改仙李

最上谷地工藤小路
同 新町

柴崎利介
菅野忠蔵
鈴木喜七

宇井与市
榎藤左工門
○同 兵太郎

同 新蔵

和田新左工門

升屋伊助

佐藤伝吉

松井屋武兵衛

福田安平

柴田弥平治

最上左沢

安藤玄卓

┌ (十三ウ)

霜鷺

同 湯野沢

茂右衛門

馬耳

秋田藩中

福田慶左工門

かとり

〃

須山伝一郎

鷺田

吉岡治良右工門様御手附

平戸久吉

秀黛

改名惣左衛門

芋里

同 久弥

朱松

相沢領右工門

李溪

出羽三森

杉江清七

桐木

○加藤李溪

桂葉

齋藤義四郎

井梧

鳥山先歌

佐藤徳右工門

松翠

川崎平右工門様御手代

内海宇兵衛

蒼梟

〃

広田清吉

菅山

〃

名和為助

遊亭

越後二本木

吉野鉄作

喜年

同 新泻多門当銀屋

竹内清之助

○江口善平

┌(十四才)

石海 同 長岡神田町正木屋

由都留 同 ヲヂヤ

路丈 同 高田直江町

左琴 同 同本誓寺町

魚国 同 今町

素檠 信劬高島桑原町

蕉雨 同 飯田大久保

和柳 同 佐久郡桜井

都右 同 小諸荒町

雲帶 同 上田原町

伯先 同 伊奈郡山寺

露丸 同 上田柳町

如毛

嵐離

菊也

半良

呉山

霞山

杉坂政右工門

○木嶋茂左工門

○馬嶋玄陳

室武助

小さるや七左工門

島屋太良右工門

桜井三郎右工門

同 市左工門

菊屋伊兵衛

成沢七良左工門

吉川将鑑

小堺屋文作

〔十五才〕

ぬし屋角蔵

雜屋平右工門

半田屋良吉

平野屋武太夫

原田玄宗

同 //

同 追分

同 木町

同 上田

同

蓬谷	東海道神奈川	川島屋市兵衛
尺布	同	遠州屋勘六
叙来	相刃伊勢原片町	伏見屋伊右工門
左右	、	越光嘉十良
	、	瀬戸亦左工門
	、	同 祐二郎
	、	同 祐二郎
季甲	九保殿御内	嘉藤嘉蔵
	岩谷連中 啓眉、月彭、莫子、由也	
雪丸	羽刃最上松程邑	鈴木郷右工門
学都	上刃下大来邑	萩野大和
松夢	奥刃伊達川股羽田	作田栄吉
青楓	下野芦野在高久邑	高久角左工門
有菜		同 善助
処逸	同 太田原大手前	岩井屋孫兵衛
枕石	同 塩原	和泉屋太兵衛
潭釣	同 佐久山	渡辺半次右工門
青流	同	同 源太郎
秋英	同	佐野屋権兵衛

「(十五ウ)」

嵐夕	同 鹿沼	鈴木俊益
稻焉	安芸中野邑	野間藤右エ門
芳草	新泻多門三ノ丁	小山常右エ門
時颯	同 本町四ノ丁	渡辺祐菴
芦洲	越後宮川宿問屋	京屋伝兵衛
亀泉	同 長岡蔵王院ノ町藩中	近藤林之助
青甫	同 ヲヂヤ在新泻	
路白	新町本三ノ丁	丸山甚右エ門
一路	伊勢クモツ	奥田吉良兵衛
風斉	米沢クノモト邑	深沢藤兵衛
禹丈	日本松根崎町	善性寺和尚
秋水	出羽米沢時庭邑	大宝院
蝸一	同 池黒邑	三堀寺
卮言	秋田佐竹山城様御家中	赤埴新八郎
若二	出羽本庄古雪町	善応寺
歌木	同 亀田	打矢長三郎
和協	同 藩中	新妻弥右エ門

┌(十六才)

┌(十六ウ)

器水	令徳	芳蘭	左江	硯斎	野遊	尺布	一瓢	信彦	蒼湖	雅堂	仙市	李峰	文玉	足彦	卓池	信中吉田	橘与兵衛
	同 塩尻	同	同 同	同 吉田	同 所	信州赤沼	文通ハ表 豆芴玉沢待者中 ⁽¹⁹⁾	信中松代家中	津軽 文通所大坂屋平六内	同 中野	信芴松本	下総銚子	武州榎戸	尾州名古屋ビハ島	三州岡崎	鶴田与惣右工門	
	同 嘉平二	同 佐藤平兵衛	同 岡沢大蔵	同 加毛喜平太	同 春原重太夫	深瀬助右工門	裏 箱根市ノ沢題目寺迄		東蔵	胎蔵院	百瀬仁左工門	宮本太右工門	横田半十良	油屋多助		片岡戸六	

┌(十七才)

肅山

同 所

柳好

武芴竹沢

三枝

同 安戸

はじめ

肥前島原多比良邑

正覚寺

┌(十七ウ)

右文通所 京七条西洞院東へ入

大坂下博良町御霊御旅所

亀屋ノ裏

山崎屋孫兵衛

魚ふみ

篠崎彦惣 旅宿小網町三丁目

栃木屋三右工門

麻かり

上芴草津

坂上七兵衛

翠川

勢芴松坂

瀬古喜右工門

椎巳

浪花堂島浜三丁目

浅原半十郎

葵亭

豊後日田隈町

米屋彦太良

魚とき

下毛利足(足利)

佐藤勝右工門

道澄

同 同

桜井恒吉

素考

同 飛駒竹ノ沢

酒卷孫右工門

故園

信州今ヲカ

遠藤安助

魚連

武州八丁川岸

斎藤四良衛(四)

旅宿小網町三丁目 広屋吉右工門

高橋十次良

└(十八オ)

柯雪 信州輕井沢

玉蓬 同 所

呂律 武州熊谷

月夜庵三津人 大坂船町橋北詰

桐栖 兵庫

扇暑 大坂天満寺町堀川

呉老 撰劬池田

竹斎 大坂北新地曾根崎橋東へ三軒目

杜蓼 京四条麩屋町東

大巢 尾劬宮中瀬町

鳥頂 走井

可盈 近江八幡

竹有 尾劬ナゴヤ桑名町

丘高 イセ山田一ノ木町

星譜 浪花

椎巳 イセ松坂

旬光 上毛桐生在上広沢

桃几 同 同所

佐藤左源太

小松屋喜惣二

礮屋彦惣

月夜庵

仁木竹輔

滝野屋太右エ門

大和屋五兵衛

松田敬庵

島屋幸助

橋屋弥四良

井口市良右衛門

西川蔵六

大鶴庵

神風館

土佐屋吉衛(マ)

浅原半十良

中里翁助

毒沢六良右エ門

「(十八ウ)

「(十九オ)

壺半	上毛浅原	藤生富二郎
茅丸	同 大原	麻屋路八
鹿太	同 藤丘	桐渕貞寿
浦人	同 同	桜井
葛松	江劬八幡在藤丘	近江屋武左工門
川二	上毛新町	海老屋金右工門
しをり	同 桐生	鳥屋茂八
蘿月	同 同	長福寺
梅價	京寺町三条上ル	北川万蔵
甲二	(武州)	藤屋半兵衛
米砂	(同)	大野屋佐太良
商山	(同)	柳沢七三郎
雪朝	江劬八幡在深谷	土屋庄太郎
雪丸		同 庄之助
春雄	(武州) 深谷宿	杉田多八郎
秀鷲	同	兼村忠蔵
五繩	同 新戒	荒木平左工門
美泉		

└ (十九ウ)

古言

中仙道鴻巢

辰巳屋喜兵衛

和調

同 同所

法要寺和尚

貝石

同 深谷

梅本庄助

保月

同 熊谷

板屋直二良

春年

同

同 金兵衛

東狸

同

菱屋藤十

蹄山

坂本宿

永井音八

同

武井

芦尺

同

同 駒吉

素白

笹屋伝七

文通届所 小柳町三丁目伊セ屋長兵衛

戸口村三田磯右衛門へ頼ミ遣ス

〈註、素白の項朱書〉

土晦

武砦本庄

酢屋吉良兵衛

百二

甲砦小石和

山下半三良

飛脚所 馬二 相模屋喜兵衛
嵐外、真恒

志う

江砦平松邑水口石辺間也

奥村俊二妻

「(二十才)」

幽人

下毛五十部邑足利在也

穴原政右エ門

「(二十ウ)

宜彦

尾州大久伝邑

兼子源四良

小新川千代倉治兵衛文通所

呉秀

撰州伊丹本町札之辻

小西吉兵衛

飯所茅場町

小西利右エ門店

多よ女

スカ川

市原正五良母

文屑

牧野様藩中

尾池善蔵

虚白

同

小花五良八

得三

同

原田得三

一蕎

同

大羽半助

茂良

むぐら庵と云

京元誓願寺千本二町西 満蔵院前

二井宿御米納宿 大代地さかくら屋伝吉

米沢の皆川九良左エ門

「(二十一オ)

玉之

津軽弘前本町三丁目

武田又三郎

蒼湖

大坂屋富蔵

草坡

山城屋吉六

露牛

宮崎忠兵衛

一掬

同 親方町

竹屋慶助

里川

同 本町壹丁目

秋田屋善四郎

五友

両柯

春潮

百泉

美録

伊勢松坂塩屋町

宮城正意

貞我

同

長井新八

文河

出羽二井宿

桑名屋定七

呉山

島津六郎兵衛

峨山

同 玄章

宇工

同 才吉

文通屈所湯ノ原宿高橋孫十郎

七塙

出羽米沢築茂邑

齋藤長吉

澹斎

加賀本吉

岸名篤平

珍洞

出羽天童駅九ノ本

明石源三郎

東二

同 天童在貫津邑

赤坂正二郎

〔二十一ウ〕

松弟

二丘

呉秋

如仙

米五

閑々

東甫

仙李

馬年

亀丸

東峨

此江

青観

秀民

芒徳

貞風

燕石

かつミ

同 榛山邑。綿屋トモ云

半沢久治郎
半沢弥惣治

「(二十二才)

矢萩清助

内田金兵衛

山田一郎

同

出羽尾花沢宿

仙台御花丁

同 志つ小路

エチゴ大安寺邑

柴崎弥左衛門

石原泰助

横田善三郎母

坂口津右衛門

里村甚左工門

熊倉兵治

「(二十二ウ)

同 柴田

同

最上天童在奈良沢邑

福島在高湯

長龍寺和尚

安達屋三四郎

乙人

桑折北町

車屋戸市

芳齋

本宮南町

笠名屋文三郎

原水

宇都宮伝馬町

礪島洗司

北岱

太田原綿屋の裏ニ住作山本陣

渡辺斧平

紫明

八丁目

金沢屋忠兵衛

長居

福島本町

伊勢屋弥兵衛

桃几

上毛中広沢

毒島六良右エ門

文届所 桐生六丁目升屋金七方

幽人

下毛五十部

穴原政右エ門

「(二十三才)

志う

江芴平松邑水口石辺の間也

奥村俊二妻

玉成

上毛松井田宿

畑中国助

さかゐ

取次処上毛前橋諏訪町

角伊勢屋柳吉迄

専秀

上毛中江田 届所上毛堺町小石屋弥七有物 三ツ木モ有物ニ而届く

如董

豆州三島駅

寺尾真平

石鶏

武州中瀬邑

河田雀之助

樗白

同 新戒

荒木万治良

注繩

同 新戒

両角与治兵衛

荷尚

諏訪家中 芝金杉中屋敷

「(二十三ウ)

風実

常弼北条

市村作左衛門

文通所柏屋孫左工門 大馬伝町(伝馬)

阿兮

上毛下仁田

桜井源五右工門

三車

前橋板屋町

岩附屋林蔵迄

専秀

上毛中江田

川田仙右衛門

文音所 境町小西屋藤七迄

貞三

上毛藤岡

三友吉兵衛

葛ふる

信州八幡(マ)

小林勝右工門

届処 小諸釜屋新助

有物

上毛境町

小石屋弥七

同 角瀬

栗原玄祐

〔二十四才〕

三車

届処前橋板屋町 岩附屋穀店

月敏

新泻古町四ノ丁

かりがねや清右工門

与人

二本松若宮丁油屋

根本与一兵衛

芳斎

本宮南町

笠石屋文三良

長居

福島本町

伊勢屋弥兵衛

乙人

桑折北町

車屋戸市

かつミ

福島ヨリ西ノ方高湯

安達屋三四良

原水

宇都宮伝馬町

磯島洗司

はる雄

上毛桐生□村

下山鹿蔵

杵曰

同 亀丘 堤也

高橋助左工門

届処 上毛太田大津屋六右衛門迄

余力

上毛粕川

富岡直蔵

官翠

同 尾島

金井貢

掬月

同所也

壺半

上毛浅原

藤生富二良

文通所 大間々町 金子亦右エ門殿迄

一芦

秋田藩中

水戸部右兵衛

大和主鈴殿御ち屋二而

梅史

文届所 小アミ町三丁目 加田屋長右工門

上田屋徳兵衛

やくも

上毛不二丘

島屋作七

圭美

上毛不二丘

幸助

堀留奈良屋利兵衛方へ〔註、この項朱書〕

兎水

下毛アクツ

加藤長右工門

柳強

下毛アクツ

兎水がヲヒナリ

「(二十四ウ)

「(二十五オ)

三和
燕市
春胤
汶胤
稲波
麦夫
豆萁
亀祐
巢子
一笑
魯鷄
井鮒
遊鶯
巢鳩
彳石
峰松
素考

上毛広沢

千寿^⑧

同所

同

同 改青驚

同 改布山

同所人也

巢兆妻の弟也

秋田藩中保戸野

上毛□丘

豆州三島宿

相州大山良べんの上

深川和倉組屋敷の外スリツキ向

景太

たまり屋甚兵衛

大坂屋吉兵衛

春胤の子息也

坂河屋才治良

塩屋三良兵衛

伊勢屋七兵衛

豆苧 豆萁の子息也

〔二二五ウ〕

藤田喜太良

吉田理輔

尾越四郎作

源長坊

松井三吉

遠藤安助

〔二二六オ〕

文音処 足利二丁目 須永平吉

東車 田口五良左エ門様御手附

米五 同 齋藤源三良

閑々 同 内田金兵衛

万青 江戸川端大曲リ 山田一良

歌夕 上毛広沢 梶野長三良

志覚 同 新田郡三ツ木邑 新井要吉

同 佐位郡境町小西屋藤七届所

蓬尺 同 麻屋甚五右エ門（註、この項朱書）（二十六ウ）

百蝶 下毛阿久津川岸 中山与藏

百菽 武州榎戸 横田東三郎

柴崎文音届所十日街 山邑屋茂ハ

山形七日町 足利屋和右エ門

和水 本所津軽様表門前 甘利斧三良

井水 小川町本庄近江守様御屋敷長忠助殿迄

常之 下毛築田 宮下弁達

菊麿 信州上田西新町

志塩 上毛セラ田 茂木友右衛門（二十七オ）

如春 丸角 山田□助

信上田

小林万五良

万戸

笹沢小金太

茂什

池田新兵衛

蹄秋

宮川清作

左梁

花滝

平林笹吉

林家

丸山平蔵

谷水

与右衛門

柳水

齋藤源三良

芹翠

山上善太夫常太郎

楫水

大橋小左衛門

東甫

山本屋儀平

一路

石川清右エ門

山兔

森村類助

花笑

松山寛輔

一雀

中島貞三良

閑枝

八町堀松屋町弁天横町

文月

下毛赤堀

「(二十七ウ)

「(二十八オ)

錦柄 屈所 幸手宿 長島屋栄次良迄

柳吾 幸手久下田

有台 武州唐子

道磨 上毛赤堀

屈処 伊勢崎本町 富屋利助迄

上州イセ崎本町 富屋利助様迄

秋間奇遊様行

文月 同赤堀

秦々

有台 屈所 大馬伝(伝馬)(町)二丁目 同六サイ

一米 上州榛名五太庵

高崎東町堀山与惣右衛門殿迄

真彦 〈註、この一行朱書〉

休甫 同 惣社植野

一雀 上毛連取

屈処伊セ崎丁 岸昌益迄

楚岳 三河西境

易足 上田柳街

伝左工門

中村市十良

中島祐八郎

中島貞三郎

笹屋半兵衛

佐藤五百枝

立見万四良

吉村類助

加藤新二良

宮島休助

「(二十八ウ)

松竹	上毛連取	森 栄二
松里	同	同 松助
賢美	上州太田駅	宮下安兵衛
青峨	上毛ハルナ	山田門大夫
	屈処 上毛高崎本街	福田屋久兵衛
定佐	同 水沼	下平富太良
	高崎島屋佐右衛門方	
	南総菊間八幡宮神主	根本大貳
蘭岱	仙台岩谷堂家中	滝川徳二
白推	同	菊地喜蔵
来堂	同	大和田吉右工門
木耳	同	千葉清蔵
胤兄	同	柏木長蔵
長習	同	
寸竜	同	大和田彦四良
薰履	同	保屋吉蔵
仙風	同 高田	小野寺忠兵衛
羽遊	同	里見了三

「(二十九ウ)

「(二十九才)

桂齋	文居	由月	呉風	蘭醉	鳥左	柳之	貝脊	茶月	斗墨	一布	髴月	秋吏	館子	素明	白雅	円三	
吉田邑	糠野目	同	同	同	同	米沢城下	同	同	南部黒沢尻	気仙郡盛町	同	同	同	同	同	同	
嶋貫文沢	近春次郎	小杉兵右工門	完戸円次	前田長右工門	阿辺弥吉	渡辺多吉	清野祝蔵	山屋惣吉	小沢宇蔵	田嶋屋巳之助	水野桃吉	小野寺忠助	百蔵	西館屋弁二	川村屋梅十良	中館元蔵	木祢寺
		┌(三十ウ)														┌(三十才)	

芝岳	出羽米沢アラ町	鹿股源八
箕月	ゝ	大屋幸五郎
李興	ゝ	永井音八
蓬子	ゝ	小林金吾
秀香	ゝ	大屋幸作
柯雪	ゝ	同 佐源 ^(本) 左
架笠	信笈輕井沢	佐藤定之助
蓬尺	ゝ	釜鳴屋応助
松丘	ゝ	捨五郎
布尺	ゝ	俵屋雄之助
加年雄	ゝ 追分	若林銀司
朔雨	ゝ	半田屋常太良
丘吹	信笈上田	泉屋定吉
梅母里	ゝ	同 真平
凉居	ゝ	鈴木清蔵
文貫	最上尾花沢	柴崎惣次良
桃翔	本庄古雪町	藤田卯之四良
如蘭	小国新屋敷	和田丑次良

┌ (三十一才)

よし栖

同 座頭町

平井源右衛門

蛙兄

秋田向飛弾様御家中

遠藤^(住)住連之丞

芝虎

同 須田美濃様御家中

服部監物

巴江

出羽本庄古雪町

藤田治良左工門

○蛩城

同 亀田藩中

吉田推蔵

武国

同

新妻忠三郎

恒年

同

石川良貞

虚秋

吉良兵衛

北鷲

上阪清五良

胤伯

吉田平兵衛

苔路

仲右衛門

○豆丘

仙台岩谷堂アラマチ

桑水

同 中町

佐藤新蔵

○宇林

同 今泉

及川安之助

九巢

同

庵月敬菴

白推

同 岩谷堂中町

菊池屋喜蔵

胤兄

同 同処

柏木長蔵

〈註、三十二丁裏は無記〉

「(三十二才)

「(三十一ウ)

下総成田便宜所

江戸坂本町貳丁目

成田山旅宿小川伝右エ門

千住河原町 雪岳坊

たまりや甚兵衛

成田山裡神光寺 至長

成田村布鎌屋五良兵衛 汶水

両所之うちへ御出し可被下候」(表紙裏別紙)